

# 夏の甲子園 きょう開幕

# 光星ナイン 聖地を体感

開会式リハ



開会式のリハに臨んだ八学光星ナイン。後方は岩手県代表の花巻東15日、阪神甲子園球場



握手を交わす仲井宗基監督(左)と奥石重弘監督

## 第7日激突、光星と明桜両監督に聞く

第105回全国高校野球のノースアジア大明桜との選権大会は6日、兵庫県 初戦を迎える。西宮市の阪神甲子園球場で開幕前日の5日、八学光星は甲子園で開会式のリハの出場となる青森県代表の一サルに臨み、聖地の土の感触を確認した。入場行進の2回戦(12日午前8時)で4番目に登場するナイン開始予定で、秋田県代表は、中澤恒貴主将を先頭に

足並みをそろえ、堂々とした姿を見せた。この日は練習せず、リハ後はミーティングのみ行った。6日は午前9時から開会式を実施した後、1回戦3試合が行われる。

(千葉達也)

### 全員キーマンになって 仲井監督

### できるだけ失点少なく 奥石監督

大会第7日第1試合で対戦する八学光星とノースアジア大明桜。チームの仕上がりに関心する。秋田県大会の選手などについて、八学光星の仲井宗基監督、明桜の奥石重弘監督に聞いた。

―どんな試合展開に持ち込みたいか  
仲井監督 誰かというよりは、みんな展開に持ち込みたい。6月の東北大会でも対戦したが、非常に洗練された力のあるチーム。思い切ったプレーで一気に流れが変わって、二つ、二つ上げられるよう、奥石監督、ノースアジアの

―試合でキーマンとなるのは。  
仲井監督 誰かというよりは、全員がキーマンになるかからない。6月の東北大会でも対戦したが、非常に洗練された力のあるチーム。思い切ったプレーで一気に流れが変わって、二つ、二つ上げられるよう、奥石監督、ノースアジアの